

令和5年度 脇町高等学校 SSH 生徒発表及び授業研究会 実施要項

1 目 的

SSH（スーパーサイエンスハイスクール）事業において、課題研究に取り組むための基盤となる資質・能力をSW-ingSLCとして定義し、全教科・科目で、その修得を目指した授業を実践している。今回、それらの授業改善の取組や生徒発表の成果を広く公開し、その普及を図る。

2 実施日 令和5年9月22日（金）8:30～16:35

3 実施方法 リモート形式（ZOOM）及び対面形式のハイブリッド方式

4 当日日程

時間	内容	備考
8:00～	接続開始	8:30より学校長あいさつ
8:45～9:35	研究授業 物理 【3年生】	
9:50～10:40	研究授業 地理総合【1年生】	
10:55～11:45	研究授業 総合的な探究の時間【3年生】	
12:00～12:45	生徒発表【3年生課題研究】	いずれかを選択して移動
12:00～13:00	研究協議【物理または地理総合】	
12:45～13:40	昼食	
13:40～14:40	研究協議【総合的な探究の時間】	
15:00～16:30	講演会	質疑応答含む
16:30～16:35	学校長あいさつ	

5 参加者 本校 SSH 運営指導委員 徳島県教育委員会 中学・高校の教職員 等

6 内 容

研究授業 対面及びZOOM配信

科目・テーマ	物理「力学の問題演習」
授業者	斎藤 稔真
対象	3年生 35HR (19名)
指導助言者	徳島県立城ノ内中等教育学校 教頭 藤本秀彰 氏
目指すSW-ingSLC	B 課題理解・発見力、E 考察・統合力
力学の問題を通して、問題の捉え方や解き方を考えながら、問題を物理の文脈で読み解く必然性を身に付けさせる。	

科目・テーマ	地理総合「さまざまな交通網の発達 ～四国新幹線の開通による効果を考える～」
授業者	松岡 洋介
対象	1年生 11HR (33名)
指導助言者	鳴門教育大学附属中学校 教諭 大谷啓子 氏 鳴門教育大学大学院学校教育研究科 准教授 伊藤直之 氏
目指すSW-ingSLC	A：他者と協働する力、B 課題理解・発見力、C：情報収集力、D：情報収集力、E：考察・統合力
四国新幹線は四国の「持続可能な社会」のために役割をはたせるかどうかを、他地域との結びつきから考える。	

科目・テーマ	総合的な探究の時間「イノベーションワークショップ」
授業者	坂本 淳
対象	3年生 31HR (30名)
指導助言者	広島大学大学院国際協力研究科 IDEC 国際連携機構 特任准教授 小松崎俊作 氏
目指すSW-ingSLC	A：他者と協力する力 D：情報分析力 E：考察・統合力
社会課題を解決するアイデア創出の方法を先行事例を参考にしながらチームで議論をしていくことで身に付ける。	

研究協議 対面及び ZOOM 配信

各研究授業の研究協議を、対面または ZOOM のブレイクアウトルームを用いて行います。zoom での研究授業参観を申し込まれた方に、ID やパスワードを送らせていただきます。

生徒発表 対面及び ZOOM 配信 (3 作品)

SSH 特設科目「探究科学」において、自然科学をテーマとした課題研究に取り組んでおり、3 年生を代表して 3 チームがその成果を発表します。

講演会 対面及び ZOOM 配信

講師：小松崎 俊作 氏
広島大学大学院国際協力研究科 IDCE 国際連携機構

演 題：「イノベーション人材の基盤的能力：課題研究・高大接続の意義」

内 容：イノベーション人材の基盤的能力として「アイデア創出の作法に関する知識」、「非認知能力」について触れ、課題研究や高大接続、地域の特性がそれらの育成に有用となりうることをお話しさせていただきます。また、初等中等教育の改革を踏まえた将来の高等教育像についても触れていただく予定です。

7 参加申込み

- 以下のサイトまたは右の QR コードから 9 月 15 日（金）までにお申し込みください。
- 個人ごとにお申し込みいただければ幸いです。お申し込みいただいた方に、駐車場のご案内、または「当日の ZOOM の ID 及びパスワード等をお送りします。



問い合わせ・申込先

徳島県立脇町高等学校 SSH プロジェクトチーム

FAX : 0883-53-9875

TEL : 0883-52-2208

Mail : mori_hotaka_1@mt.tokushima-ec.ed.jp

担当者：杜 穂隆